

## 老衰、障害、病気になっても自分の意思で、自宅で暮らしたい。

私は週に4回お弁当の配達で、午後5時前に有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅の前を通る。どちらも一階にホールがありそこで夕食を摂るようで、上階の個室から入居者の方々が降りてきている。時間になれば一斉に食事を摂る、施設や集団住居ではその決まりで。食事や就寝時間が一斉に行われることは日課で、安全で合理的な管理で必要なことだ。

また入居者一人の持ち物には限りがあるので、入居の際には身の回りに置いておきたい物は、限度以内になるよう処分する必要がある。

自分の家なら、何時に起きようが眠ろうが、食事をしようが、物が多くても自由だ。お隣の人に迷惑をかけなければそれで暮らしていける。せいぜい小うるさいホームヘルパーに「品物が多い」とか「昼間寝ていると夜寝れませんよ」と小言を言われるのが落ちである。

## 年寄りは、厄介者で邪魔な存在か。

私も頑固ジジイの世代となった。

さて自宅である当社の前は通学路になっている。高校生や小学生が元気なのはいいが、喧嘩とか目に余るときは注意をする。私の地声は大きいので、仲間の前で注意された者は大抵急いで逃げ去る。

私も若い頃、先輩や年寄りに怒られたり諭されたりすることがあった。そのような話に100%従うことは無かったが、その言葉が何かの形で私の頭に残り、全く間違った生き方をしてこなかったことになったと思う。

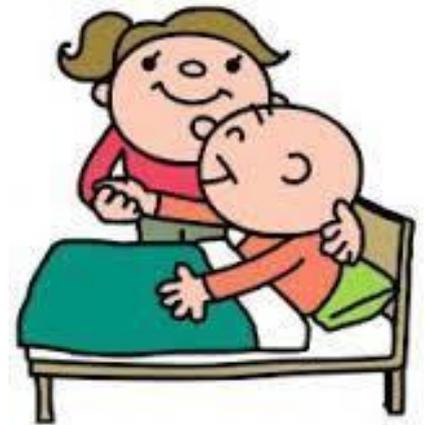
人間は生まれたままでは人生を生きていけない。子供の頃は親に、そのあとは先輩諸氏に従う従わないを問わないで教えを受け生きていく社会的生き物である。

だから、年寄りには頑固ジジイババアと言われても、若者達に話をする責任がある。仮に話せなくなっても歳をとると身体と精神がどのようなようになるのかを若い世代に見せる責任がある。

それが生まれてから死ぬまで、人間とはどのような存在かを実証するからである。だから、施設や集団住居に入らないで、出来る限り社会で暮らし続けてほしい。それが、弱いものにもやさしい若者を育て、やさしい社会を作ることになる。

## おひとり様を選択すること。

ご家族に世話をかけないで、おひとり様を選択するのはおすすめである。ただし一人での入浴は厳禁にするのがいい。入浴での事故は命とりになる。あとは、配食弁当とホームヘルパーやデイサービスを利用すれば毎日1回は人に会うことになるので、何かあっても放ったらかしになることはない。1人の入浴厳禁！おひとり様万歳である。



## 施設や集団住居の「住み慣れた地域」と言うのは全くの嘘。

グループホームや有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅が多数出来て、やたらと「住み慣れた地域で暮らす」をキャッチフレーズにしていた。

しかし大半の場合どここの集団住居に入居するかを決める基準は第一に費用で後に交通の便になるから、今まで暮らしてきた地域とは無縁になる。以前訪れたことのあるいくつかの集団住居では、地域密着とか言って建設時には「地域との交流の場」としてごく小さな喫茶店のようなものがあった。

しかしその部屋は使われず、どこも物置になっていた。だいたい人手も経費も大幅に不足しているのに「地域との交流の場」に割ける人員はない。それどころか、人員不足にコロナ禍もあって面会や外出も出来なかつたりしている。そんな集団住居の近隣住民は、その建物がそもそも何なのかを知らないことも多い。



## 来年の介護保険制度改悪、目玉の介護ロボットは無駄遣い。

自己負担を1割から2割にする、ケアマネが作るケアプランを無料から有料に、福祉用具を貸与から買い取りにして、そもそも利用する人を減らすようにする。



施設系では介護職員1人当たりの利用者人数を3人から4人するなど、介護保険が利用できない人を増やすばかりだ。

介護ロボットはベッド上の人を釣り上げる天秤棒機械の応用が多い。これは20年位前購入したものの放ったらかしにされていた物とほぼ同じだ。理由は必要な時には取りに行かなければならないので、忙しい現場では使われない。癒し系の動物ロボットを喜ぶのは子供でその内飽きる。失敗し無駄金を使うことになると思う。

それもこれも、見直しを審議する審議委員にはいわゆる有識者ばかりで介護保険を利用する当事者は不在と言っていていいからだ。(25人中、唯一認知症の人と家族会とがあるが)

ごもったもんな話は出来るが、実際に現場に行かなければ解決策が出るわけがないのが評価だ。

## 自宅で暮らして、選挙に行こう。

NHKで障害者の方などに向けた「選挙に行こう」キャンペーンが展開されていた。人の意見は右左上下と様々だろうが、障害者の投票率が悪ければ障害者のことは国会から遠ざかる。それは高齢者も同じ。

私の知る限りでは、介護が必要な高齢者は自力で行けないとなかなか投票に行くのが難しい。当社では期日前投票を利用してもらい出来るだけ同行するようにしているが、一部の箱モノでは家族が迎えに来てくれない限り、事実上投票に行けないと聞く。無論、箱モノの管理者側に投票をさせない意思などあるはずもないが、人員不足が原因で投票の声かけも出来ないのだろう。



## ホームヘルパーとお弁当を利用して、お一人様で大丈夫

何かお困りなことがありましたら、お気軽に当社までご相談ください。ホームヘルパーやお弁当のご依頼の他親切なケアマネさんや相談員さんをご紹介しますこともできます。

◎ お電話は、年中無休で朝8時半までお願いします

◎ TEL : 052 (852) 3144 訪問介護と配食事業の有限会社レイビー Let it be